

JMRC 北海道  
2010 年第 3 回運営委員会議事録

開催日時	2010 年 8 月 28 日（土）17:30～22:00
場所	札幌市清田区民センター 1F 小会議室
出席者	中田 小池 國井 石川 藤原 菅野 木戸 永井 竹下 （記）
欠席者	槇田 林 関根 西野
出張	なし
傍聴者	なし
配布資料	別紙 1：事務局資料（A4/3 頁） 別紙 2：2011 年カレンダー（A4/1 頁） 別紙 3：ラリー部会資料（A4/23 頁） 別紙 4：ジムカーナ部会資料（A4/2 頁） 別紙 5：ダートラ部会資料（A4/1 頁） 別紙 6：札幌支部報告資料（A4/1 頁） 別紙 7：事務局グループ報告資料（A4/1 頁） 別紙 8：2011 年度予算について（A4/3 頁）

I 第 2 回運営委員会議事録の確認 報告：事務局

すでに JMRC 北海道ホームページに掲載済みであることを確認した。

II 継続審査案件

1. 事務局からの報告 報告：事務局 資料：別紙 1

分担金納入状況、無線機使用料納入状況、互助会加入状況についての報告があった。

2. 2011 年シリーズ戦について 報告：事務局 資料：別紙 2

(1) ラリー

全 7 戦で部会認定済み。日程は全日本選手権のカレンダー会議待ち。→ 承認

・ ARK は全日本戦と併催。

・ 8 月 7 日 レイクサイド主催（EZ0 共催）で砂川にてグラベルラリー開催予定。

<意見>

・ 7 戦は多すぎないか？全戦出る人は少ないので、1 戦あたりの台数が減って主催者の負担が増えないか？

・ 新しい主催者は必要。

・ 戦数を減らして台数が増えた例は無い。

(2) レース

全 4 戦。日程は 24 時間レースの決定待ち。→ 承認

(3) ジムカーナ

全 7 戦+ $\alpha$ 。全日本戦スナガワにラジアルシリーズを併催するべく調整中。

→ 全日本戦の調整について条件付で承認

(4) ダートラ

全 10 戦 (2010 年と同様) → 承認

### Ⅲ 定例議案

#### 1. 部会報告

(1) レース部会 報告：事務局

報告事項無し

(2) ラリー部会 報告：藤原 資料：別紙 3

7 月 4 日および 8 月 22 日に部会を開催した。

・ 2011 年シリーズ規定について

〈主なポイント〉

- ・ 地区戦のタイトルはかけない
- ・ 現 A クラスを廃止、3000cc 上下で B、C の 2 クラス制とする
- ・ 部会認定シリーズとして K-Car シリーズを新設
- ・ 2WD1.5L クラスに車両年式制限 (2000 年 10 月) を設ける
- ・ ビギナー割引を継続する
- ・ ターマック戦のタイヤ規制について  
タイヤサイズ等の問題があり、2011 年は現行通りとし、継続審議とする。
- ・ ラリーセミナーについて  
8 月 8 日(日)平取町内で開催した。参加者 16 組 23 名、スタッフ 15 名。  
名簿、決算は別紙のとおり。決算は約 4 万円の赤字だが必要経費。
- ・ オールスターラリーについて  
10 月 23 日-24 日、長野県佐久市で開催。詳細は別紙のとおり。  
道内からの出場台数確保を目指す。
- ・ カレンダー認定、主催者会議について  
申請された 7 戦を全て認定した。2011 年規定について主催者会議で周知した。
- ・ 東北との交流戦について

「ツール・ド・東北」が東日本シリーズであるため、関東・東北との交流戦という形になり、違和感があったとの報告があった。

シリーズ規定、セミナー決算について運営委員会として承認した。

・ 対人賠償保険の取り扱いについて

民間保険会社の対人賠償保険が高額であるため、互助会にとりこみたい。

<意見>

- ・ 互助会と貸借はあっても、独立させて運用してはどうか。→可能
- ・ 対人賠償金額については、互助会規定を流用する。
- ・ 保険業法に抵触しないよう注意が必要。JAF との関係も注意。
- ・ 来春からの運用を目指し、ある程度実績ができたところで見直す。

(2) ジムカーナ部会 報告：石川 資料：別紙 4

8 月 22 日午前、主催者会議前に部会を開催した。

- ・ カレンダーについて
- ・ タイトル名の統一について (JMRC 全国から依頼)
- ・ 2011 年シリーズ規定について  
2010 年から変更無しの見込み
- ・ 主催者の負担減について

主催者が数年前の選手意見を取り入れていろいろ変えたが、結局台数増にはつながらなかった。選手の側にも申し込み期限厳守など協力を求めたい。

(3) ダートラ部会 報告：事務局 資料：別紙 5

8 月 22 日午前、主催者会議前に部会を開催した。

- ・ 2011 年シリーズ規定について  
PN 部門の年数制限、クラス区分、参加資格について変更。

<意見>

- ・ 車両については異議無し。
- ・ ジュニアシリーズの参加資格を安易にいじるのはどうか。
- ・ ジュニアシリーズの存在意義は？

次回運営委員会で参加資格について林部会長に説明を求める。

2. 支部報告

(1) 札幌支部 報告：事務局 資料：別紙 6

6 月 26 日 (土) 救急救命講習会を伏古記念会館にて開催。参加 17 名。

(2) 旭川支部 報告：小池 資料：なし

役員の変更

ラリー部員：鎌田豊 (CMSC 道北) → 佐野公彦 (BAF)

(3) 帯広支部 報告：國井 資料：なし

7 月 4 日に支部交流ダートラ・ラリー練習会を開催。参加 10 台。

3. JAF 専門部会報告 (議事無し)

4. JMRC 全国運営委員長会議および JMRC 全国協議会報告 報告：事務局 資料：なし

- ・ラリー 9 月 16 日（木）全国会議開催（東京） オールスターラリーについて
- ・スピード行事 報告事項無し

## 5. その他

- (1) 事務局グループ会議報告 報告：藤原 資料：別紙 7

8 月 26 日（木）事務局グループ会議を開催した。内容は資料のとおり。

- ・表彰式は表彰式担当者と 9 月中旬に打ち合わせを行う。
- ・今年度中にホームページの内容の一新を図る。
- ・事務局間借りの賃料について、次回運営委員会までにたたき台を作成する。

- (2) 2011 年予算について 報告：事務局、運営委員長

昨年末の時点で約 150 万円の剰余金が発生しており、これを会員に還元したい。

<意見>

- ・年会費、タイトル料、分担金が会員に判り易い。
- ・どこを対象にするか考えるべき。選手かクラブか？
- ・収入は現状のままで、普及活動などより積極的に動くのがよいのでは？
- ・セミナー講師料など赤字になってもきちんと出したほうが良いのでは？  
→ 一生懸命やっている人に正当な対価を払えるようにしたい

次回運営委員会で継続審議とする。

- (3) その他

- ・審査委員派遣について 提案：國井

審査委員の人選、金銭負担（負担割合など）をはっきりさせてほしい。

審査委員会グループが次回運営委員会までに案をまとめる。

- ・作業グループ会議への旅費・日当支出について 提案：藤原

各作業グループの会議にも旅費・日当を支払う。

報告書（出席者、時間、内容等が判る議事録など）を出すことを条件とする。

次回運営委員会は 10/30（土）、清田区民センター（予定）にて開催予定。

以上。

2010年 JMRC北海道シリーズ戦 分担金納入状況

シリーズ	開催日	主催者	台数	金額	入金日	差額
			レース小計 0台	0		0
レースシリーズ				金額	入金日	差額
第1戦	5/16	MSF(株) / TOSC		0		
第2戦	7/18	MSF(株) / TOSC		0		
第3戦	8/22	MSF(株) / TOSC		0		
第4戦	9/26	MSF(株) / TOSC		0		
			ラリー小計 128台	384,000		0
ラリー チャンピオン/ジュニア/2WD1.5シリーズ				金額	入金日	差額
第1戦	1/24	AG.MSC北海道	30台	90,000	2010/01/31	
第2戦	2/14	EZO	31台	93,000	2010/02/14	
第3戦	5/9	R.T.C	23台	69,000	2010/05/13	
第4戦	6/6	EZO	25台	75,000	2010/06/16	
第5戦	7/17-18	TEAM ARK	19台	57,000	2010/07/29	
第6戦	10/9-10	R.T.C		0		
			ジムカーナ小計 201台	301,500		0
ジムカーナ チャンピオン/ラジアルシリーズ				金額	入金日	差額
第1戦	4/18	NC.A.S.C	46台	69,000	2010/04/25	
第2戦	5/9	C.S.C.C./ <del>NC.A.S.C</del>	41台	61,500	2010/05/09	
第3戦	5/30	TOSC		0		
第4戦	6/13	AG.MSC北海道	42台	63,000	2010/06/25	
第5戦	7/18	CCR	29台	43,500	2010/07/21	
第6戦	8/8	C.S.C.C.	43台	64,500	2010/08/08	
第7戦	9/5	NC.A.S.C		0		
第8戦	9/26	THIBAUT		0		
			ダートトライアル小計 354台	531,000		0
ダートトライアル チャンピオン/ジュニアシリーズ				金額	入金日	差額
第1戦	1/23-24	TEAM-OSC	52台	78,000	2010/01/29	
第2戦	2/21	C.S.C.C.	54台	81,000	2010/02/21	
第3戦	4/25	C.S.C.C.	55台	82,500	2010/04/25	
第4戦	5/16	CCR	58台	87,000	2010/07/21	
第5戦	6/6	THIBAUT	50台	75,000	2010/06/25	
第6戦	6/27	BRAIN	58台	87,000	2010/07/18	
第7戦	8/1	TEAM-OSC	27台	40,500	2010/08/09	
第8戦	8/29	EZO		0		
第9戦	9/19	TEAM ARK		0		
第10戦	10/3	AG.MSC北海道		0		



2010年度 互助会加入状況

2010/08/27 現在

金融機関別加入・入金状況

JMRC北海道  
2010年第3回運営委員会  
議事録 別紙 1

事業年度	日付	道銀		郵振		ゆうちょ		現金		
		人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	
2010年度	2009/11	0	-	0	-	0	-	0	-	0人
	2009/12	63	-	68	-	0	-	13	-	144人
	2010/01	179	161,100	192	173,500	0	0	18	16,400	389人
	2010/02	61	55,100	23	21,100	0	0	0	0	84人
	2010/03	5	4,500	17	16,300	0	0	0	0	22人
	2010/04	7	6,400	15	14,900	8	7,200	0	0	30人
	2010/05	14	12,600	10	9,000	0	0	0	0	24人
	2010/06	1	900	4	4,000	0	0	0	0	5人
	2010/07	1	900	1	1,000	0	0	0	0	2人
	2010/08	4	4,000	4	3,700	0	0	0	0	8人
	2010/09	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
2010/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0人	
2011年度	2010/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
	2010/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
	合計		245,500		243,500		7,200		16,400	512,600

金融機関別個人・団体加入状況 (会計年度)

(人数)

	道銀	郵振	ゆうちょ	現金	合計
団体	265	225	8	16	514
個人	7	41	0	2	50
合計	272	266	8	18	564

2010年度会員数 (事業年度)

(人数)

	道銀	郵振	ゆうちょ	現金	合計
合計	335	334	8	31	708

2011 Motorsports Calendar

Date : Aug. 28 2010

	Rally					Race		Gymkhana			Dirt Trial			
	WRC	APRC	全日本	JMRC-H	etc.	F1		全日本	JMRC-H	etc.	全日本	JMRC-H	etc.	
1月 2日														
9日														
16日														
23日					AG.MSC							TEAM-OSC 糠平湖		
30日														
2月 6日														2月 6日
13日	Sweden			EZO								C.S.C.C 千歳		13日
20日														20日
27日														27日
3月 6日	Mexico													3月 6日
13日							Bahrain							13日
20日														20日
27日	Portugal						Australia							27日
4月 3日							Malaysia							4月 3日
10日														10日
17日	Jordan						China	THIBAUT 千歳						17日
24日							Korea		TOSC 十勝			C.S.C.C 千歳		24日
5月 1日														5月 1日
8日	Itaria								C.S.C.C. 千歳					8日
15日				RTC			Spain	Clubman (Clubman)				CCR 砂川		15日
22日														22日
29日	Argentin						Monaco		TOSC 十勝			TEAM-OSC 帯広		29日
6月 5日														6月 5日
12日							Canada		AG.MSC 砂川 (TOSC)					12日
19日	Acropolis			EZO								AG.MSC 砂川		19日
26日							Turkey (24H)							26日
7月 3日									砂川 ラジアルSrのみ併催					7月 3日
10日							Great Britain 24H					砂川		10日
17日														17日
24日							Germany					THIBAUT 千歳		24日
31日	Finland						Hungary		C.S.C.C. 千歳					31日
8月 7日				LAKE SIDE & EZO										8月 7日
14日														14日
21日	Germany						Belgium	Clubman	NC.ASC 千歳					21日
28日							Europe					BRAIN 砂川		28日
9月 4日														9月 4日
11日	Australia						Italy		NC.ASC 千歳			EZO 千歳		11日
18日				ARK	ARK/RTC									18日
25日							Singapore (Clubman)					TEAM ARK 砂川		25日
10月 2日	France	Hokkaido	Hokkaido											10月 2日
9日							India			TOSC 十勝 (TOSC)				9日
16日								Clubman						16日
23日	Spain						Japan							23日
30日							Brazil							30日
11月 6日														11月 6日
13日	Great Britain						Abu Dhabi							13日
20日														20日
27日														27日
12月 4日														12月 4日
11日														11日
18日														18日
25日														25日

JMRC北海道  
2010年第3回運営委員会  
議事録 別紙 2

※この日程は右肩の日付現在確認できるものですが、今後変更・追加・削除される可能性があります。  
 ※全日本選手権以上で黒地に白文字のものは北海道で開催予定のイベントです。  
 ※()付のものは、それぞれ第2希望の日程です。  
 ※北海道のシリーズについては申請中の状況です。  
 ※ジュニアシリーズ、ノンタイトル戦については今後調整・追加がある場合があります。  
 ※12月にカレンダー調整会議が行われる予定です。

2010/07/04

## 第二回ラリー一部会議事進行次第

- 2011 年シリーズ規定案・その他について
  - ・ 地方選手権の扱い及び各シリーズ
  - ・ クラス区分
  - ・ 車両規定
    - ターマック戦のタイヤ規制
    - 2WD1.5 クラスの年式制限
  - ・ エントリー費(主催クラブ内規)について
  
- セミナーについて
  - 8月8日(日)開催予定のペースノート編について
    - ・ 開催内容
    - ・ タイスケ等(別紙)
    - ・ 予算案(別紙)
  
- オールスターラリーについて
  - 開催年度および開催場所等
  
- 主催者会議開催について
  - ・ 議題及び内容
  - ・ 周知事項
  
- 東北地区との交流戦について
  
- シリーズ第5戦のアークラリーについて
  - ・ ジュニアシリーズのスペシャルステージ距離延長の特認
  - ・ 役員派遣
  
- その他
  - ・ 対人賠償保険について
  - ・ jmr c 北海道ホームページの部会管理および部会共用のアドレス
  - ・ その他

## 2010 年 第 2 回 ラリー 部会 報告

- 開催日 2010年7月4日(日)
- 場 所 札幌市清田区民センター
- 出席者 藤原篤志(部長)・伊藤慶太(札幌支部)・岡村寛一(帯広支部)・秋葉貴之(室蘭支部)・佐野公彦(旭川支部)
- 傍聴者 鎌田 豊(CMSC道北)・木戸達三(MSC・KITE)・伊藤信之(EZO)・伊藤かほる(R-SAP)・中田昌美(RTC)

### 議題

#### 1. 2011 年シリーズ規定案

- (1) 北海道の出走台数及び競技会総走行距離等の現状から 2011 年度についても地方選手権は行わない。
- (2) 現在の 3 つのシリーズはそのまま残し、軽自動車のシリーズを新たに立ち上げる。このシリーズは部会認定シリーズとし、年間表彰は部会でおこなう。また、規定等(車両規則他)については、次回部会にて決定する。
- (3) クラス区分を現在の 3 クラスから 3,000cc 上下の 2 クラスとする。
- (4) 2011 年度から 2WD1.5 シリーズ参加車両の年式制限(初年度登録年月)をおこなう。次回の部会で制限する年度を決定する。
- (5) ビギナークラス参加者のエントリー費(主催クラブ内規)について、現行のデビュー戦から 1 年有効及びビギナークラスのエントリー費+3,000 円でジュニアシリーズに参加可能を次年度も継続しておこなう。

#### 2. ターマック戦のタイヤ規制について

現在、装着するタイヤがラリータイヤに限定されているチャンピオンシリーズ及び 2WD1,5 シリーズについて、経費削減を目的としてラジアルタイヤの導入が提案されたが、各メーカーのタイヤサイズ等を具体的に検討した結果、インチアップが必要になりホイールの購入が必要となるクラスもあり、新たな経費が発生することから、直ちに規定化(2011 年度)はせず引き続き検討をおこなうこととした。

#### 3. セミナーについて

- (1) 8 月 8 日(日)平取町で開催予定のペースノート編については、昨年同様のスケジュール及び内容でおこなうこととする。
- (2) 林道の占有許可は取得済みで、座学会場施設は予約済みである。
- (3) 奴田原選手並びに鎌田卓磨選手に講演及び講師等の依頼をする。

#### 4. オールスターラリーについて

- (1) 今年度は、JMRC 関東が担当で 10 月 23~24 日に長野県佐久市でおこなわれる予定、ミックスかターマックでおこなわれるため、北海道から参加者が少ないことが懸念される。来年度は、JMRC 東北担当により、10 月 22~23 日に北秋田でオールダートを予定する。
- (2) 再来年を予定している北海道開催について、現在のところラリージャパン開催年と重なるため、1 年間の先送りを要請している。

#### 5. 主催者会議開催について

- (1) 8月22日に3カテゴリー同時におこなう。又同日に部会の開催も予定する。
- (2) 同日までに次年度の開催予定クラブは、希望日程を部会に提示していただきたい。

#### 6. 東北地区との交流戦について

副部会長の岡村氏を現地に派遣する。現時点で北海道からは、3~4台が参加する予定である。

#### 7. シリーズ第5戦のアークラリーについて

- (1) ジュニアシリーズのスペシャルステージ総距離延長の特認申請があり、条件を付けて認定した。
- (2) 部長の藤原氏を JMRC 北海道シリーズに役員(審査委員)として派遣する。

#### 8. その他

- ・ JMRC 北海道ホームページのラリー関係箇所について、今後は部会管理で情報発信していく。
- ・ JMRC 北海道ラリー部会で共用アドレスの使用を開始する。
- ・ 対人賠償保険についての現状報告について
- ・ マーチ SR のラリー競技出場について

2010/08/22

### 第三回ラリー一部会議事進行次第

- 2011年のセミナーについて
  - ・ 2010年度収支報告及び総括
  - ・ 2011年度開催予定及び日程
  - ・ その他
  
- ラリー規定にある対人賠償保険について
  - ・ 2011年度の北海道における加入方法
  - ・ 互助会制度の活用について
  - ・ 対物保険について
  
- 特認申請について
  - ・ 2010年度に引き続きノーマル車(F車両)の特認申請予定
  - ・ 2010年度に引き続きブリーフィングについての特認申請予定
  
- 2011年シリーズ規定案他について
  - ・ 地方選手権の扱い及び各シリーズについて
  - ・ クラス区分及び車両規定等について
  - ・ 2WD1.5シリーズの年式制限について
  - ・ 軽自動車によるシリーズ(仮称 K-Car シリーズ)の発足及びその車両規定等について
  - ・ ビギナークラス等(仮称 K-Car シリーズ)のエントリー費について
  - ・ 冬季のクローズドクラスによる初心者取り込みについて
  - ・ その他
  
- 全国ラリー振興事業委員会について
  - ・ オールスターラリー
  
- 主催者会議開催について
  - ・ 議題及び内容
  - ・ 周知事項
  
- その他
  - ・ オフィシャル相互派遣について
  - ・ 申し送り書について
    - ペナルティ及び指導については必ず申し送り書により次の競技会に引継ぐこと。
  - ・ 他地区(B地区等)との交流について
  - ・ タイムカードについて
  - ・ その他

## 2010 年 第 3 回 ラリー 部 会 報 告

- 開催日 2010年8月22日(日)  
□場 所 札幌市清田区民センター  
□出席者 藤原篤志(部長)・伊藤慶太(札幌支部)・岡村寛一(帯広支部)・秋葉貴之(室蘭支部)・佐野公彦(旭川支部)  
□傍聴者 無

### 議題

#### 1. 2011 年度カレンダー通告について

シリーズタイトル申請書により提出された下記の7つの競技会について、当部会で審査した結果、全競技会を認定した。ただし、各競技会の日程調整については、現時点で全日本戦のカレンダー(9月15日申請締切)が確定していないことから、その確定後におこなうこととした。

第1戦	1/23(日)	AGMSC 北海道(北海道ブリザードラリー)
第2戦	2/13(日)	EZO(第25回 EZO ENDLESS RALLY)
第3戦	5/15(日)	RTC(Super Tarmac 2011)
第4戦	6/19(日)	EZO(EZO SUMMER RALLY 2011)
第5戦	8/7(日)	レークサイド/EZO(レークサイドラリー 仮称)
第6戦	9/16(金)~9/18(日)	ARK(2011 ARK Rally in 後志)
第7戦	9/17(土)~9/18(日)	RTC(とちち 2011)

※ レークサイドについては、暫くシリーズ戦を行なっていなかったため、現シリーズ戦主催者との共催を条件に認定した。

#### 2. セミナーについて

- (1) 奴田原氏を特別ゲストに迎え、23名(16台)の参加者により開催された。内容については、昨年と同様に午前は座学で、午後からは林道において実技をおこなった。なお、今回は受講者のレベルにあわせ4組に分けて、それぞれに指定の講師をつける指導方法を取った。
- (2) 収支報告書(決算書)は別紙のとおり
- (3) 当日の講習風景は JMRC 北海道のホームページにアップ済み。
- (4) 2011 年度の開催予定日及びその内容については、来年度カレンダーが確定後に検討することとした。

#### 3. 2011 年シリーズ規定案他について

- (1) 前回(第2回)部会で決定された規定変更原案を元に 2011 年(案)を作成した。規定案は別紙のとおり。
- (2) 2WD1.5 シリーズ参加車両の年式制限については、2000 年 10 月以降に初年度登録された車両とした。
- (3) 軽自動車(仮称 K-Car シリーズ)によるシリーズは、シリーズ規定を準用することとし、エントリー費は、ジュニアシリーズからシリーズ分担金相当にあたる 3000 円引き程度を目処にお願いする。

#### 4. 特認申請について

2010 年度に引き続き JAF 公認コースにおいてノーマル車両(F 車両)参加の特認申請及びブリーフィングについての特認申請をおこなう。

#### 5. ラリー規定にある対人賠償保険について

ここ2年間にわたりJAFに現状の改善についてお願いしているが、暫くはこの状況が続くことが予想される。

また、現在、保険会社に依頼し加入している保険料が非常に高額であり全国的に問題となっており、今後のラリー参加台数にも影響があると思われる。

このため北海道については、互助会制度の活用について検討していくこととしたい。

さらに対物保険についてもこの制度を利用できないか合わせて検討をおこなっていく。

#### 6. オールスターラリーについて

今現在、路面種別等の詳細が分からないため、部会として参加者の勧誘ができず、参加台数の確保を危惧している。

直接、主催者に連絡をとりながら早急に対応していく。

#### 7. 主催者会議開催について

JMRC北海道ラリーシリーズ主催者会議の議事次第および2011年度北海道ラリーシリーズ規定の変更点その他についてにしたがい進行する。別紙のとおり。

#### 8. その他

(1) 2011年度についてもオフィシャル相互派遣および主催クラブ申し送り書は引き続きおこなっていく。

(2) 東北地区との交流について、今回現地派遣した副部長から、今回主催のCMSC青森はBC地区戦を併催しており、関東方面からの参加者も多数おり違和感をおぼえたことの報告をうけた。このことから、暫くはエントラント同士の交流を見守ることとする。

2010/08/22

## 2011 年度北海道ラリーシリーズ規定の変更点その他について

(1) 地方選手権について

2011 年度も地方選手権はおこなわない。

(2) クラス区分及び車両規定等について

チャンピオンシリーズ及びジュニアシリーズを 3000cc 上下(C クラス・ B クラス)の 2 クラスに変更する。

(3) 2WD1.5 シリーズの年式制限について

参加可能車両は 2000 年(平成 12 年)10 月以降に初年度登録された車両とし、2011 年度から規定化する。

(4) 軽自動車によるシリーズ(仮称 K-Car シリーズ)の発足及びその車両規定等について

- ・規定は(車両規定をふくめて)は他のシリーズと同じとし、クラス区分無しの軽自動車(過給器の有無を問わず)で行う。
- ・冬季の公認コースのみで行う競技会については、ノーマル車(ロールバー・消火器等)での参加も可とする。
- ・部会表彰のシリーズとする。
- ・シリーズ分担金が発生しないため、ビギナークラスのエントリー費程度で参加できるよう主催者をお願いする。

(5) ラリー競技に有効な対人賠償保険について

- ・互助会制度を検討する。
- ・対物についても互助会制度を検討する。

(6) その他

- ・2010 年度に引き続きノーマル車(F 車両)の特認およびブリーフィングについての特認申請予定。
- ・オフィシャル相互派遣及び主催クラブ申し送り書についても引き続き行なっていく。
- ・タイムカードについて

2011 年 JMRC 北海道ラリーシリーズ共通規定 (案・抜粋)

※下線部分は変更・追加箇所・二重取消し線部分は削除

1. シリーズ

JMRC 北海道のラリーシリーズは以下の 4シリーズとする。

- ・ JMRC 北海道ラリーチャンピオンシリーズ
- ・ JMRC 北海道ラリージュニアシリーズ
- ・ JMRC 北海道ラリー2WD 1.5 シリーズ
- ・ JMRC 北海道ラリーK-Car シリーズ (部会認定シリーズ)

2. 走行距離

JMRC 北海道のラリーシリーズの走行距離は下記の通りとする。  
500km 以下

3. スペシャルステージ距離

JMRC 北海道ラリーチャンピオンシリーズは 50km 以下(ただし JAF 公認コースで行うスペシャルステージの走行距離を除く)、JMRC 北海道ラリージュニアシリーズ及び JMRC 北海道ラリー2WD 1.5 シリーズ並びに JMRC 北海道ラリーK-Car シリーズは 30km 以下とする。

4. クラス区分

1) JMRC 北海道ラリーチャンピオンシリーズ及び JMRC 北海道ラリージュニアシリーズは下記の通りとする。

- ・ ~~A クラス~~ 排気量 1,400cc 以下の車両
- ・ B クラス 排気量 ~~1,400cc~~ を超え 3,000cc 以下の車両
- ・ C クラス 排気量 3,000cc を超える車両

2) JMRC 北海道ラリー2WD 1.5 シリーズは下記の通りとする。

- ・ クラス区分無し 排気量 1,500cc 以下の 2 輪駆動の車両

3) JMRC 北海道ラリーK-Car シリーズは下記の通りとする。

- ・ クラス区分無し 軽自動車(過給器の有無を問わず)

5. クラス成立及びシリーズ成立

1) 各シリーズとも各クラス(2WD 1.5 シリーズ及び K-Car シリーズのクラス区分無しを含む)3 台以上の参加をもってクラス(2WD 1.5 シリーズ及び K-Car シリーズのクラス区分無しを含む)成立とする。

2) クラス(2WD 1.5 シリーズ及び K-Car シリーズのクラス区分無しを含む)成立した競技会が 3 戦に満たなかった場合は、そのクラス(2WD 1.5 シリーズ及び K-Car シリーズのクラス区分無しを含む)はシリーズとして成立しない。

6. 得点基準

1) 各競技会でクラス(2WD 1.5 シリーズ及び K-Car シリーズのクラス区分無しを含む)成立し完走したドライバー、コ・ドライバーに対し、競技結果成績に基づき下記の表による得点を与える。

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	<del>9位</del>	<del>10位</del>
10	8	6	5	4	3	2	1	9	10

- 2) クラス(2WD 1.5 シリーズ及び K-Car シリーズ)のクラス区分無しを含む)成立した競技会が 6 戦の場合は 5 戦を高得点順に、5 戦以下の場合には全戦を得点合計の対象とする。
- 3) 各競技会で 2WD 1.5 シリーズ及び K-Car シリーズを除き、参加する当該クラスが成立しない場合は、隣接する上位クラスでの参加を認める。この場合のクラス別得点は上位クラスの得点となる。
- 4) 得点合計が高い順に順位を認定する。但し、同一得点の場合は上位得点の獲得回数が多い順とする。
- 5) 得点対象外の参加者がいる場合は、繰り上げて得点が与えられる。
- 6) 得点取得対象者は、JMRC 北海道互助会加入者であり、かつ JMRC 北海道に加盟するクラブ・団体の構成員に限る。

7. シリーズ表彰

各クラス(2WD 1.5 シリーズ及び K-Car シリーズ)のクラス区分無しを含む)とも年間シリーズ 6 位までのドライバー及びコ・ドライバーを表彰する。

8. 参加車両

- 1) 2011年 JAF 国内競技車両規則第 2 編、ラリー車両規定に定める RN 車両・RJ 車両または RF 車両とする。  
(2002 年 12 月 31 日以前に運輸支局等に初度登録され、かつ 2002 年 JAF 国内競技車両規則第 3 編、ラリー車両規定に従って製作された車両(RB 車両)についても、2WD 1.5 シリーズ及び K-Car シリーズを除き参加可能とする)
- 2) 2WD 1.5 シリーズの参加車両は、2000 年(平成 12 年)10 月以降に初年度登録された車両とする。
- 3) 正規の自動車登録番号標が交付されており、自動車検査証及び強制賠償保険証を有していること。
- 4) 過給器付きエンジンを搭載した車両でチャンピオンシリーズ C クラスに参加する場合は、過給器のコンプレッサーハウジングにはいかなる温度条件下においても最大内径 32mm(外径 38mm 以下)のリストリクターを装着しなければならない。  
そのリストリクターについては、各オーガナイザー〔技術委員(長)〕が競技会公式車検時または事前に部会員の立会いのもとに封印を施しその封印を受けた車両に関しては、それが保持(年度をまたいで可)されているかぎり、チャンピオンシリーズ各戦において有効とする。
- 5) 排気ガス (CO, HC)、排気音が規定値を満たしていること。
- 6) 参加者は、ヘルメット (国内競技車両規則第 4 編付則に従ったヘルメット)、シートベルトを保持装備すること。
- 7) 参加者は国内競技車両規則第 4 編付則に従ったレーシングスーツを着用すること。
- 8) 参加車両には非常用停止標示板 (三角) 2 枚、非常用信号灯、赤色灯、牽引用ロープ、救急薬品、各車両規定で定められている仕様の消火器を搭載すること。
- 9) 無線装置の車両持ち込み、装備を禁止する。
- 10) ロールケージの装備を義務づける。

9. 参加申込

- 1) 各大会に参加を希望する場合は、参加申込書に正しく記入し特別規則書に定められた締切日まで

に規定の参加料を添えて大会事務局宛に送付しなければならない。

- 2) エントリーの上限は 60 台とする。
- 3) オーガナイザーは国内競技規則 4-19 に従って、エントリーを拒否する場合がある。  
その場合、オーガナイザーは参加者に対してすみやかに不受理を通知する。
- 4) 正式参加申込後の車両交換、乗員の変更は、申込締切日までに文書で事務局に申告しなければならない。
- 5) 正式参加受理後の乗員の変更は認められない。ただし、参加者から理由を付した文書が提出され、競技会審査委員会が認めた場合はその限りではない。
- 6) 参加部門または参加クラスの変更を伴う車両変更は認められない。
- 7) 大会事務局に於いて、参加車両と参加者の正式参加の受理を決定し、参加者に正式受理書で通知する。
- 8) 正式参加受理後の参加料及び申込の書類は返還しない。
- 9) 参加申込書類に不備がある場合には、参加申込の正式受理を保留する。
- 10) 参加申込に必要な添付書類
  - ・ラリー競技に有効な自動車保険（任意保険）の証券写し又は領収書写し又は一般任意保険でラリー競技会の移動区間で有効であることを確認した誓約書
  - ・改造車検取得車は、改造申請許可証等の写し
  - ・自動車検査証の写し

#### 10. 参加資格

- 1) ドライバー及びコ・ドライバーは、JAF 発行の 2011 年度競技運転者許可証の国内 B 級以上を所持していなければならない。
- 2) 今年度開催されたラリー競技会で、重大な反則による失格宣言をされていないこと。
- 3) ラリー競技会で有効な対人保険に加入していること。
- 4) 1 台の乗員は、ドライバー、コ・ドライバーの 2 名とする。
- 5) ジュニアシリーズは JAF 全日本ラリー選手権又は JAF 地方ラリー選手権(チャンピオンシリーズ)に於いて過去 3 年以内に年間シリーズで 3 位以内に入賞したドライバーのドライバーとしての参加は認めない。
- 6) ジュニアシリーズに於いて当該年度シリーズ優勝したドライバーは、次年度チャンピオンシリーズにエントリーする場合、各オーガナイザーの設定したジュニアシリーズの参加料金にて参加(次年度 1 年間) することができる。

#### 11. 参加料

- 1) JMRC 北海道に加盟するクラブ・団体の構成員(競技運転者許可証に押印されたクラブ登録印により確認)の参加料は、非構成員の参加料より 1 名につき 3,000 円を割り引いた金額とする。
- 2) JMRC 北海道互助会会員(加入証等により確認)の参加料は、非会員の参加料より 1 名につき 1,000 円を割り引いた金額とする。
- 3) 普通傷害保険の加入を義務づける。但し、JMRC 北海道互助会又は他地区の互助会に加入している場合はその限りではない。
- 4) エントリー料金は次の場合、全額返還される：
  - a. エントリーが受理されなかった場合。
  - b. ラリーが開催されなかった場合。

禁止する。

- 2) レッキ方法の詳細については、レッキ当日受付にて渡されるレッキ指示書に従うこと。
- 3) 指示された進行方向に従い走行すること。逆走を禁止する。
- 4) レッキの間、競技者は交通法規を遵守しなければならない、さらに規則や公式通知で通知されるオーガナイザーのいかなる指示にも従わなければならない。
- 5) スペシャルステージを予定する区間での 30Km/h 以上での走行を禁止する。

#### 16. 車両検査

- 1) すべての競技車両は、特別規則書又は公式通知に定められた予定時刻にしたがって、車両検査を受けなければならない。
- 2) ~~JAF公認登録番号標付車両検査チェックリスト~~ JMRC 北海道所定の車両改造申告書に必要事項を記入して車両検査時に提出しなければならない。
- 3) 競技会審査委員会は、規則に不適合な箇所が発見された車両に対し、規則に合致させるための限られた修復時間を与えることができる。
- 4) オーガナイザーは競技会期間中、任意に車両の追加検査または追加確認を行うことができる。参加者は競技会期間中、常に各自の車両の適合性について責任を持つものとする。
- 5) 各クルーは、競技の最終コントロール通過後ただちに競技車両をパークフェルメに進入させ、下記の確認を受けること。
  - a. 出走前に車両検査を受けた車両と同一であること。
  - b. 罰則の対象となる要因の有無。
  - c. マーキング、封印等を実施した場合は、それが保持されているかどうか。
- 6) 競技会審査委員会または競技会技術委員長が必要と判断した場合、もしくは抗議の内容により必要とされる場合、オーガナイザーは分解を伴う再車検を行うことができる。再車検の際、必要な人員、部品工具等の費用は参加者の負担とする。

#### 17. サービスとサービスパーク

- 1) 競技中は、競技車両のサービスはオーガナイザーが設定したサービスパークでのみ行うことができる。ただし、外部からの援助を受けることなく、クルー自ら車載の道具類のみを使用して作業を行う場合はこの限りではない（コントロールエリアおよびパークフェルメは除く）。
- 2) 整備作業を行うことができる者は、当該車両の乗員およびオーガナイザーが認めた作業員（登録されたサービスクルー）とする。
- 3) 特別規則書に記載されている項目以外に何らかの整備作業を行う必要がある場合は、競技会技術委員長の許可を得ること。
- 4) 整備作業にあたっては、他の交通および作業員の安全確保に十分留意すること。
- 5) 整備作業実施後は必ず競技会技術委員の確認を受けること。
- 6) サービスパークには競技車両の他には登録されたサービス車両以外入場出来ない。
- 7) 競技車両 1 台につき 2 台のサービス車両を使用することができる。この車両は参加申し込み時に登録され、サービス車両であることを示すプレート（サービスカー登録証）を表示していなければならない。
- 8) サービスパーク内においては、いかなる車両も 30Km/h を超えて走行してはならない。
- 9) サービスパークでの車両整備の範囲は下記の通りとする。
  - a. タイヤの交換
  - b. ランプ類のバルブの交換

2) 競技が打ちきりになった場合の成績は、競技打ちきり時点におけるものとする

### 31. 競技会の中止又は延期

保安上又は不可抗力による事情が生じた場合は、競技会審査委員会の決定によって競技会の開催を中止、延期、又はコースの短縮を行うことがある。又中止、再競技の場合の日時は、公式通知を持って通知する。この場合、参加料は返還する。

### 32. 損害の補償

参加者は車両及び付属品が破損した場合、その責任は参加者各自が負わなければならない。  
参加者は、JAF及びオーガナイザー並びに大会役員が一切の損害賠償の責任を免除されていることを了承していなければならない。即ち、大会役員は、その役務に最善を尽くすことは勿論であるが、参加者の負傷、死亡その他車両の損害事故に対しては、一切の補償、責任を負わない。

### 33. タイトル料金

JMRC北海道ラリーシリーズの開催を予定するクラブ・団体は、指定の期日までにシリーズ申請書によりJMRC北海道(事務局)に申し込まなければならない。

また、その申請が運営委員会により承認された場合は、その年度の末日までに各シリーズ毎にタイトル料金10,000円(2WD 1.5シリーズ及びK-Carシリーズは免除)をJMRC北海道(事務局)に納入しなければならない。

ただし、納期限後に納入する場合は、納期限の翌月から一月毎(各月1日～末日)にタイトル料金額の1割に相当する額を延滞に対する事務手数料としてタイトル料金に加算して納入するものとする。

なお、競技会開催日の前日までに納入なき場合は、当該クラブ・団体の次年度のシリーズ戦開催は認めない。

### 34. シリーズ分担金

JMRC北海道ラリーシリーズを開催するクラブ・団体は、各シリーズ毎に参加台数1台につき3,000円(2WD 1.5シリーズ及びK-Carシリーズは免除)をシリーズ分担金として競技会終了後30日以内にJMRC北海道(事務局)に納入しなければならない。

なお、納期限までに納入なき場合は、当該クラブ・団体の次年度のシリーズ戦承認を保留する。

### 35. ポイント集計

各シリーズのポイント集計はJMRC北海道ラリー部会にて行う。

### 36. 本規則の施行

本規則は2011年1月1日をもって施行する。

なお、本規則では、タイムコントロールの運用方法について、ラリー競技開催規定、付則スペシャルステージ開催規定 第23条.3により、ロードセクションにスペシャルステージが含まれる方式を採用し、これにかかわる規定の変更についても本規則に反映されている。

別紙：ラリー競技開催規定、付則スペシャルステージ開催規定、別添5

「スペシャルステージラリーに適用される罰則」の写し

2010.8.8

## ラリーセミナー実施要領

- ◇集合時間 08:30(ラリー部員集合時間)
- ◇集合場所 平取町中央公民館(平取町本町88番地1)
- ◇スタッフ〈部員〉 藤原篤志・岡村寛一・伊藤慶太・秋葉貴之(講師兼任)
- 〈講師〉 関根正人・鎌田 豊・木戸達三・竹下紀子・五十嵐恵子  
・三木孝市・伊勢谷巧・宗片さおり・小坂和生(メディア)  
・尼子 祥一(部員役務兼任)・奴田原文雄氏(特別ゲスト)
- ◇タイスケ 09:00~12:00 公民館で座学(ペースノートの基本等)  
12:00~12:30 昼食  
13:00~16:00 占有林道コース内(占有林道)にて実地講習  
16:30~17:00 公民館で座学(質疑応答等)  
17:00~ 解散
- ◇人員配置
- [座学]〈午前〉 奴田原文雄氏の講演  
基礎講習 竹下紀子  
ペースノート作成方法他 各講師
- [実践]〈午後〉 同乗走行等
- 初級向 竹下紀子・木戸達三・秋葉貴之  
・三木孝市・伊勢谷巧・宗片さおり
- 中級向 鎌田 豊・関根正人・五十嵐恵子・奴田原文雄氏
- コースロック 藤原篤志・岡村寛一・伊藤慶太・尼子 祥一
- 昼食受取 伊藤慶太
- ◇備品等 サインボード・ステー・無線・ゼッケン

# ラリーセミナー ペースノート編 参加者名簿

2010/08/08

No	ドライバー名 コ・ドライバー名	地域	コース	車両	互助会加入 済・依頼	ライセンス 有・無	所属クラブ
1	假屋 洋人	札幌市	初級	スターレット (競技車両)	済	無	
	假屋 徹	札幌市			済	無	
2	片野 太郎	札幌市	初級	カルディナ (一般車両)	済	無	CMSC 道北
	堀内 隆	置戸町			済	有	
3	佐々木智也	札幌市	初級	インプレッサ (一般車両)	済	有	
	須田 恭一	深川市			済	有	
4	望月 大地	東京都	初中級	ヴィッツ (一般車両)	済	有	VICIC
	久保 拓也	札幌市			済	有	PMSC
5	宮田 賢	帯広市	中級	ヴィッツ (競技車両)	済	有	帯畜大自動車部
	石田 浩規	帯広市			済	有	帯畜大自動車部
6	松下 孝司	釧路市	中級	インプレッサ (競技車両)	済	有	
	中田 昌美	帯広市			済	有	AGMSC・H
7	石橋 栄	札幌市	中級	アルト (競技車両)	済	有	EZO
	後藤 琢匡	別海町			済	有	CSI
8	南 篤典	札幌市	中級	ヴィッツ (競技車両)	済	有	AGMSC・H
9	上田 寛	小樽市	初級	ミラージュ (競技車両)	済	有	
10	佐々木良太	札幌市	初級	ミラージュ (競技車両)	済	有	
11	帷子 浩義	札幌市	初級	インテグラ (一般車両)	済	有	AGMSC・H
12	小野寺 溪	士別市	初級	スイフト (競技車両)	依頼	無	BRAIN
13	小笠原淳互	釧路市	初級	セリカ (一般車両)	依頼	有	
14	山崎 和政	釧路市	初級	レガシー (一般車両)	済	有	
15	浅利 徹朗	札幌市	初級	ワーゲンポロ (一般車両)	依頼	無	
16	安田 優子	札幌市	初級	FTO (一般車両)	依頼	無	

# JMRC北海道ラリーセミナー決算表

報告日 2010. 8. 10  
 報告者所属 ラリー部会  
 報告者氏名 ラリー部長 藤原 篤志

JMRC北海道  
 2010年第3回運営委員会  
 議事録 別紙 3

セミナー名称	JMRC北海道モータースポーツセミナー2010(ペースノート編)
主催	JMRC北海道ラリー部会
開催日時	2010年8月8日
場所	座学:平取町中央公民館 実技:民有林林道・ヌタツブ線

収入					支出				
科目	摘要	単価	台数	金額	科目	摘要	単価	個数	金額
参加費		5000	7	35000	講師		5000	10	50000
参加費		3000	9	27000	特別ゲスト	奴田原文雄氏	10000	1	10000
互助会加入		1000	4	4000	弁当	講師・部員・メディア含む	600	38	22800
				0	許認可関係	占有申請・コース確認経費	3500	3	10500
				0	資料等	資料コピー・サイン等備品	3000	1	3000
				0	事務局経費	切手代等含む	5000	1	5000
				0	占有看板制作費	林道事前掲示用	0	1	0
				0	互助会加入		1000	4	4000
				0	会場費	公民館(後援により免除)	0	1	0
				0	部員日当・旅費	部会経費対応	0	0	0
				0					0
				0					0
				0					0
				0					0
小計				66000	小計				105300
					差額				-39300

事務局使用欄

2010・8・23

## オールスターラリーについて

### <概要>

日程 2010年10月23日(土)～24日(日)  
2Dayにて開催  
競技種目 SSラリー  
併設 東日本選手権第7戦を併設  
SSの路面 ミックス  
舗装 : 約9km x 3本 約4km x 2本  
ダート : 約4km x 2本 約2km x 2本 合計50km  
タイヤ ラリータイヤのみ

### <レキ集合場所>

佐久市勤労福祉センター(予定) 10月23日6時予定  
長野県佐久市佐久平駅南4-1 0267-67-7451  
<http://www.city.saku.nagano.jp/shisetu/kinpuku/index.htm>  
※集合時間により変更(佐久市内)の可能性あり。

### <スタート会場>

佐久市勤労福祉センター  
参加確認、車検、開会式を実施。スタート後は戻りません。

### <サービス&宿泊&表彰式>

八子ヶ峰ホテル  
長野県茅野市白樺湖 0266-68-2341  
<http://www.yashigamine-hotel.co.jp/index.html>  
サービス: 土曜1回、日曜1回  
Day1終了後の車両保管は行いません。

### <参加費>

参加費 ¥75,000 レキ、懇親会(夕食)、土曜宿泊含む  
サービス 登録無料、車両のみ3,000円/台  
懇親会&宿泊¥×、×××/人(検討中)  
懇親会のみ、宿泊のみの登録は出来ません。

### <東日本戦について>

参加費 ¥60,000 レキ、土曜宿泊（食事なし）含む

※ 追加¥で15,000オールスターのポイント、懇親会、八子ヶ峰ホテル宿泊が付加  
懇親会のみ、宿泊のみの登録は出来ません。

※地区戦のみの登録の場合、宿泊は女神湖になります。

サービス 登録無料、車両のみ3,000円/台

八子ヶ峰での懇親会&宿泊¥×、×××/人（検討中）

### <現状プラン>

#### 10月23日（土）

06時 レキ開始 集合：佐久市勤労福祉センター

12時 参加確認、車検

14時 開会式 佐久市勤労福祉センター

15時 DAY1 Sec1 スタート  
舗装2本、ダート2本

20時 懇親会 八子ヶ峰ホテル

JMRC役員 茅野

選手、サービス 八子ヶ峰&女神湖

オフィシャル 女神湖

#### 10月24日（日）

07時 DAY2 Sec2 スタート  
舗装2本、ダート1本

サービス 八子ヶ峰ホテル

10時 DAY2 Sec3 スタート  
舗装1本、ダート1本

15時 表彰式 八子ヶ峰ホテル

16時 解散

2010年8月23日

JMRC全国ラリー振興委員会 御中

## 2010年オールスターラリー役員スケジュール (案)

JMRC関東ラリー部会  
部会長 小口 貴久

10月23～24日に開催しますオールスターラリーのJMRC役員の現時点(8月)でのスケジュール案を記載いたします。(時間は全て予定です)

### <10月22日(金)>

集合場所&宿泊ホテル

東横イン佐久平駅浅間口 〒385-0027 長野県佐久市佐久平駅北1-1

TEL: 0267-66-1045 FAX: 0267-66-1044 <http://www.toyoko-inn.com/hotel/00140/>

JR長野新幹線 佐久平駅 浅間口 徒歩1分 シングルR 約6,000円(朝食付)

事前打ち合わせ&懇親会

19:00～ 佐久市内を予定

※宿泊代、懇親会代は各地区負担でお願いいたします。

### <10月23日(土)>

午前中 徒歩にてHQ(佐久市勤労福祉センター 徒歩3分)へ移動

13:00～ 第一回審査委員会

14:00～ 開会式

15:00～ Day1 Sec1スタート

八子ヶ峰ホテルに移動(振興委員会会議室を用意)

19:00～ 第二回審査委員会

20:00～ オールスターラリー懇親会 出席

21:00 宿泊場所(茅野スカイビューホテル)に移動(移動方法は検討中)

茅野スカイビューホテル 〒391-0002 長野県茅野市塚原2丁目 3796-1

TEL 0266-71-1010 FAX 0266-71-1080 <http://www.chino-skyview-hotel.jp/>

八子ヶ峰ホテルより約30分 シングルR 大風呂あり 約5,500円(朝食付)

※選手は6時よりレキ

< 10月24日(日) >

午前中 宿泊場所よりHQ(八子ヶ峰ホテル)に移動

八子ヶ峰ホテルにて振興事業委員会 会議

昼食は八子ヶ峰ホテルにて

競技

07:00～ Day 2 Sec 2 スタート

10:00～ Day 2 Sec 3 スタート

14:00 暫定結果  
第三回審査委員会

15:00 閉会式&表彰式

16:00 解散

### 1. 大会名称

第5回JMRCオールスターラリー in 関東  
2010年JAF東日本ラリー選手権 第7戦  
第29回八子ヶ峰ラリー2010

### 2. 主催者の連絡先

第29回八子ヶ峰ラリー2010 競技長  
〒135-0045 東京都江東区古石場2-5-10-209  
宮城 孝仁  
TEL 03-3643-5783  
携帯 090-4531-4711  
[d10888@dentsu.co.jp](mailto:d10888@dentsu.co.jp)

### 3. 競技役員

大会名誉会長	柳田 清二（佐久市長）	
大会名誉副会長	（八子ヶ峰ホテル社長を予定）	
大会会長	斉藤健一（JMRC関東運営委員長）	
大会副会長	山本朗（JMRC東北）	
組織委員長	小口貴久（JMRC関東副運営委員長）	
組織委員	藤原篤志（JMRC北海道）	
組織委員	清水和彦（JMRC長野ラリー部会長）	
組織委員	澤田耕一（JMRC中部）	
組織委員	山本博文（JMRC中国）	
組織委員	高木一之（JMRC四国）	
組織委員	七田定明（JMRC九州）	
審査委員長	中村善浩（JMRC全国ラリー振興事業委員長）	
審査委員	仲野次郎（JAF審査委員会グループ）	
審査委員	小田切順之（JMRC関東ラリー部会副会長）	
競技長	宮城孝仁	
副競技長	平井孝文	依田 靖弘
事務局長	福原忠	コース委員長 野村聡
計時委員長	大田貴之	技術委員長 関口勝

2010. 8. 22

主催者各位

JMRC北海道ラリー部会  
部長 藤原 篤志

## JMRC北海道ラリーシリーズ主催者会議

### 議題

1. 2011 年度シリーズ戦主催予定クラブについて
  - (1) 開催日等について
  
2. 2011 年シリーズ規定案他について
  - (1) 地方選手権の扱い及び各シリーズについて
  - (2) クラス区分及び車両規定等について
  - (3) 2WD1.5 シリーズの年式制限について
  - (4) 仮称 K-Car シリーズの発足及び車両規定等について
  - (5) ビギナークラス及び仮称 K-Car シリーズ等のエントリー費について
  - (6) 冬季のクロズドクラスによる初心者取り込みについて
  - (7) その他
  
3. ラリー規定にある対人賠償保険について
  - (1) 2011 年度の北海道における加入方法
  - (2) 互助会制度の活用について
  - (3) 対物保険について
  
4. 特認申請について
  - (1) 2010 年度に引き続きノーマル車(F 車両)の特認申請予定
  - (2) 2010 年度に引き続きブリーフィングについての特認申請予定
  
5. その他
  - (1) オフィシャル相互派遣
  - (2) 申し送り書  
ペナルティ及び指導については必ず申し送り書により次の競技会に引継ぐこと。
  - (3) タイムカードについて
  - (4) 他地区(B 地区等)との交流について
  - (5) その他
  
6. その他

## JAF九州地域クラブ協議会共済規定一部改定

(現行JAF九州地域クラブ協議会共済規定第8条に、下記を追加する。)

2009年4月2日改定・施行

### 第8条

#### 5. ラリー競技会参加に関する特約

- ・JMRC九州共済会会員は、九州にて開催されるJAF公認ラリー競技会参加に限り本特約を申し込むことができる。
- ・競技会参加申込みの時点において、所定の申込み用紙にて1台につき2,000円の追加会費(1戦毎の掛け捨て)を添えて競技会主催者に申し込む事により、当該競技会に限り本特約の適用を受ける事が出来る。
- ・当該ラリー競技中に発生した、会員本人が加害者となる対人身事故に対して、1事故/1名につき200万円(死亡事故のみ400万円)を限度として、対人身事故被害者に見舞金を給付できるものとする。但し原則として同一会員に対し、JMRC共同共済、又は第8条1と本特約による重複給付は行われぬものとする。
- ・見舞金の算定は、第8条1と同様とする。
- ・第8条4給付金の対象に、第8条の4 事故被害者(ラリー競技)を追加する。
- ・見舞金給付申請に関しては第9条と同様とするが、事故報告は事故発生後30日以内とする。また事故報告の後、傷病完治(症状固定)後30日以内に給付の申請を行わなければならない。
- ・申請に際し事故発生時の現場等の詳細図および発生状況報告書を添付すること。また調査等の取扱事務手数料を、別途徴収する場合がある。
- ・給付に関しては、対人身事故等の発生状況を調査の上、運営委員会の承認を必要とする。

### JMRC九州共済会ラリー特約申込書 (JMRC九州事務局提出用)

下記の加入要項に同意した上で、JMRC九州共済会ラリー特約を申し込みます。  
(¥2,000-)

申込日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

競技会名 \_\_\_\_\_ 参加クラス \_\_\_\_\_ JAF公認番号 \_\_\_\_\_

競技開催日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 主催クラブ \_\_\_\_\_

① ドライバー氏名 \_\_\_\_\_ ⑩ 年齢 \_\_\_\_\_ 才 共済番号 \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_

T E L \_\_\_\_\_ 所属クラブ名 \_\_\_\_\_

ライセンス番号 \_\_\_\_\_

② コ・ドライバー氏名 \_\_\_\_\_ ⑩ 年齢 \_\_\_\_\_ 才 共済番号 \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_

T E L \_\_\_\_\_ 所属クラブ名 \_\_\_\_\_

ライセンス番号 \_\_\_\_\_

※参加車両名 \_\_\_\_\_

※登録番号 \_\_\_\_\_ ※車台番号 \_\_\_\_\_

JMRC九州事務局 〒814-0015 福岡市早良区室見5-12-27 FAX送信可: 092-841-7815

キリトリ

\*本控は給付申請時に必要です。【加入要項】\*本票は切離して、選手に渡して下さい。

- ・本特約有効期間は当該競技会開催期間のみとする。
- ・最高給付金額は200万円(死亡の場合のみ400万円)とする。
- ・その他、細則についてはJMRC九州共済会規定第8条5に準拠する。

**JMRC九州共済会ラリー特約申込書控及び預り証 (会員控)**

¥2,000- 受付日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

競技会名 \_\_\_\_\_ 主催クラブ \_\_\_\_\_

競技開催日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 競技会参加クラス \_\_\_\_\_

申請者氏名 \_\_\_\_\_ ライセンス No. \_\_\_\_\_

JMRC九州登録済

所属クラブ名 \_\_\_\_\_ クラブ代表者氏名 \_\_\_\_\_

※参加車両名 \_\_\_\_\_

※登録番号 \_\_\_\_\_ ※車台番号 \_\_\_\_\_

JMRC九州事務局 〒814-0015 福岡市早良区室見5-12-27 FAX: 092-841-7815

2010年8月22日

JMRC 北海道ジムカーナ部会

JMRC 北海道ジムカーナシリーズオーガナイザー各位

2010年 JMRC 北海道ジムカーナシリーズ主催者会議

- 1、日時 : 2010年8月22日 (日) 午後～
- 2、場所 : 清田区民センター 1F 視聴覚室
- 3、議題
  - 1) 2011年カレンダー申告状況および調整
  - 2) 2011年規則書について
  - 3) 2011年シリーズ戦 審査委員会派遣
  - 4) 申送り事項
  - 5) その他

参考

- 1) の件 状況、予定確定 (暫定)
- 2) の件 2010年規則と変わり無がラジアル規定について JAF の流れで使用タイヤの変更あり。今の所現状
- 3) の件 前回運営委員会にて各シリーズ戦において1名の審査委員を派遣を執行
- 4) の件 部会提案、主催者提案 各クラス成立等確認は選手の自主的範囲で主催者の負担になるものではない旨参加者にもアピール出来ればいいのではないか。
- 5) その他 JAF カレンダー申請について、タイトル (運営委員会認定後申請)

**2011年 JAF 北海道ジムカーナ選手権第○戦**

**2011年 JMRC 北海道ジムカーナチャンピオンシリーズ第○戦**

**2011年 JMRC 北海道ジムカーナラジアルシリーズ第○戦**

**2011年 JMRC オールスター選抜第○戦**

配布資料

- 1、申告状況

以上

全	ラ- 2011	ジムカーナ				ダート		2011年		レース他	レース他 国際
		全	2011	JAF	JMRC	全	2011	1月	2月		
								1月	2		
									9		
									16		
	AGMSC						OSC 糠平		23		
									30		
								2月	6		
	EZO								13		
							CSCC 千歳		20		
									27		
								3月	6		
									13		
									20		
		鈴鹿							27		
								4月	3		GT岡山
									10		
			THIBAUL 千歳	1戦	1戦		おおむた		17		F 鈴鹿
		名阪					CSCC 千歳		24		
								5月	1		GT富士
			CSCC 千歳	2戦	2戦				8		
	RTC						丸和 CCR 千歳		15	クラブマン1	F もてぎ
		菅生							22	クラブマン1	(2)
			TOSC 十勝	3戦	3戦		OSC 帯広		29		
								6月	5		F オートボリス
		タカタ	AG 砂川	4戦	4戦				12		
	EZO						門前		19		
									26		
							AG 砂川		26		
		砂川	砂川(全)	5戦	5戦		砂川 砂川(全)	7月	3	クラブマン2	(24h)(2)
			全日本にJMRC北海道						10	クラブマン2	(24h)(1)
			シリーズランアルクラス 併催						17	F 富士	
							THIBULT 千歳		24		
			CSCC 千歳	5戦	6戦				31		GTSUGO
	LAKE/EZO						切谷内	8月	7		ソーラー鈴鹿/Fもてぎ
									14		
			NCASC 千歳	6戦	7戦		今庄		21	クラブマン3	GT鈴鹿
		もてぎ					BRAIN 砂川		28	クラブマン2	(24h)(3)
			NCASC 千歳	7戦	8戦			9月	4		
							コスモス EZO 千歳		11		GT富士
	ARK/RTC	おおむた							18	クラブマン4	F もてぎ
							ARK 砂川		25		F SUGO
	RallyHokkaido						タカタ	10月	2		APRC北海道/GTオートボリス
	RTC	本庄							9	クラブマン4	(1)
									16		
									23		
									30		
							おおむた	11月	6		
		名阪							13		
									20		
									27		
								12月	4		
									11		
									18		
									25		

## 2010年ダートトライアル部会報告

CMSC 札幌 林 宏明

日時：平成 22 年 8 月 22 日（日）AM10:00～

場所：清田区民センター 1 F 視聴覚室

出席：林（部長）、笠原、松波

欠席：和泉（副部長）、内藤

主催者会議の前にダートトライアル部会を開催し、来年度のシリーズ統一規則について以下の通り変更することとし、主催者会議後、別紙の予定でシリーズ戦を行うこととした。

### 第 10 条 参加車両

#### 1) PN 部門

PN 部門に参加する車両は、下記 1) あるいは 2) に定める要件を満たした FIA 公認車両、JAF 公認車両または JAF 登録車両で、当該年度 JAF 国内競技車両規則（以下「車両規則という。）第 3 編スピード車両規則に定めるスピード PN 車両（PN 車両）に適合したものとする。

- a) FIA または JAF 公認車両であり、同一車両型式の最も古い公認発効年が選手権年度の 5 年前の 1 月 1 日以降の車両。
- b) JAF 登録車両であり、同一車両型式の最も古い JAF 登録年が選手権年度の 5 年前の 1 月 1 日以降の車両。
- c) 当該車両が FIA 公認車両、JAF 公認車両または JAF 登録車両として資格を重複して有する場合は、同一車両型式の公認発効年または JAF 登録年の最も古い年から起算して、上記 1) あるいは 2) に定める年数による資格を決定する。

### 第 11 条 競技クラス区分

JMRC 北海道ダートトライアルチャンピオンシリーズ

スピード H1.5+ PN 車両部門

H-1.5+ PN 1 クラス 気筒容積 1500cc 以下の 2 輪駆動の N、B、SA 車両+気筒

JMRC 北海道ダートトライアルジュニアシリーズ

スピード N・B・SA・PN 車両部門

J-1 クラス 気筒容積 1600cc 以下の 4 輪駆動の N、B、SA 車両

J-2 クラス 2 輪駆動の N、B、SA、PN 車両

J-3 クラス 気筒容積 1600cc を超える 4 輪駆動の N、B、SA 車両

### 第 13 条 参加資格

~~② 前年度の JMRC 北海道ダートトライアルチャンピオンシリーズで 1～3 位に入賞したドライバーはジュニアシリーズへの参加はいずれのクラスに於いても不可とする。但しレディースクラスは除く。~~

③ JMRC 北海道の互助会に加入する事を強く推奨する。

以上



## 2010年第2回事務局グループ会議報告

- 開催日 2010年8月26日(木)PM7:00~PM10:00  
□場所 ガラージセキネン  
□出席者 藤原篤志・関根正人・永井 真・竹下紀子

### 議題

#### 1. JMRC 北海道事務局の備品等について

- (1) 新事務局の封筒および住所等のゴム印を製作する。
- (2) 各種現金受け渡しおよび管理のため手提げ金庫を購入する。
- (3) 事務所間借りによる賃料および作業に対する対価について、運営委員会に提案する。
- (4) 事務局専用の電話回線およびファックスについて、事務所に現在ある回線で独立した番号に出来ないかを現在調査している。

#### 2. 来年度予算の方向性について

11月初旬に、2011年度JMRC北海道加盟クラブ・団体に対して年会費案内の発送を控え、予算の方向性を決定したい。具体的には、クラブ年会費・分担金・互助会費・モスラ使用料等について検討する。

#### 3. 表彰式について

表彰式担当者と近々(9月中旬)打合せをおこない詳細を詰めていく。

#### 4. ホームページの管理について

- (1) ホームページ管理の責任者は永井とする。
- (2) 今年度中にホームページのレイアウトの変更等を含めて内容の一新をはかる。
- (3) 各主催者からの特別規則書等の送付については、事前に滞りなく送付されているが、リザルトに関しては、失念されていることがあり、各部長にこまめなチェックをお願いしたい。

#### 5. 事務連絡について

- (1) 運営委員会の召集案内は2週間前までに、メール等により案内文を送付する。
- (2) 議事録については、会議後2週間以内に作成し運営委員会メンバーに送付する。

2010/08/28

2011 年度予算について

事務局グループ

活性化を実現する予算策定

JMRC 北海道の影響対象

- (1) 主催のないクラブ、団体 . . . 直接の会員
- (2) 主催するクラブ、団体 . . . 貢献
- (3) クラブ、団体の構成員 . . . 選手およびオフィシャル、他関係者

収入項目と影響

- (a) 年会費 . . . (1)、(2)、(3)
- (b) タイトル料 . . . (2) (間接的に(3))
- (c) 分担金 . . . (2)、(3)
- (d) 無線使用料 . . . (2)、(間接的に(3))

※手を付ける項目まで絞り込みたい

収支計算書

支 出		収 入	
報償費	300,000	年会費	1,654,000
印刷製本費	44,100	タイトル料	400,000
通信運搬費	48,278	分担金	2,034,000
会議費	38,035	無線使用料	429,000
旅費	803,470	一括購入・契約	744,000
各部会経費	406,534	未払金	0
事務局経費	22,090	その他	428,294
備消耗品費	39,960		
借上料	120,000		
渉外費	49,745		
シリーズ戦振興費	1,470,722		
教育事業費	316,350		
モータースポーツ振興費	217,499		
一括購入・契約	660,300		
交付金	0		
無線管理	658,500		
負担金	55,000		
返済金	0		
過年度未払	0		
年会費調整額	0		
その他	55,700		
予備費	0		
(小計)	5,306,283		
当期剰余金	383,011		
合 計	5,689,294	合 計	5,689,294

貸借対照表

現金	133,161	前期繰越金	1,181,377
預金	1,431,227	当期剰余金	383,011
合 計	1,564,388	合 計	1,564,388

預金内訳

道銀 花川支店	246,196
道銀 流通センター前支店	0
ゆうちょ銀行	1,185,031
郵便	0
合 計	1,431,227

JMRC北海道  
2010年度 決算 途中経過

期間 : 2010/01/01 ~ 2010/08/27

収支計算書

支 出		収 入	
報償費	260,000	年会費	1,572,000
印刷製本費	10,500	タイトル料	0
通信運搬費	22,570	分担金	1,216,500
会議費	26,740	無線使用料	329,000
旅費	347,280	一括購入・契約	507,000
各部会経費	98,550	未払金	0
事務局経費	2,270	その他	-96,188
備消耗品費	5,888		
借上料	0		
渉外費	26,070		
シリーズ戦振興費	0		
教育事業費	30,629		
モータースポーツ振興費	7,297		
一括購入・契約	534,607		
交付金	0		
無線管理	315,832		
負担金	50,000		
返済金	0		
過年度未払	11,035		
年会費調整額	0		
その他	14,400		
予備費	0		
(小計)	1,763,668		
当期剰余金	1,764,644		
合 計	3,528,312	合 計	3,528,312

貸借対照表

現金	362,797	前期繰越金	1,564,388
預金	2,966,235	当期剰余金	1,764,644
合 計	3,329,032	合 計	3,329,032

預金内訳

道銀 花川支店	444,991
道銀 流通センター前支店	430,093
ゆうちょ銀行	1,185,151
郵振	906,000
合 計	2,966,235